ガス小型湯沸器 先止め式

取扱説明書

商品コード
133-H919型

ごあいさつ

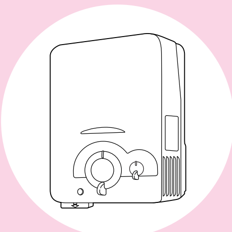
このたびは、大阪ガスのガス小型湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全に使用していただくために、本機器を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

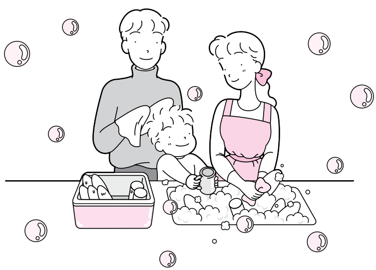
○別添の保証書は、記載してあるお買上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名	YS541



使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

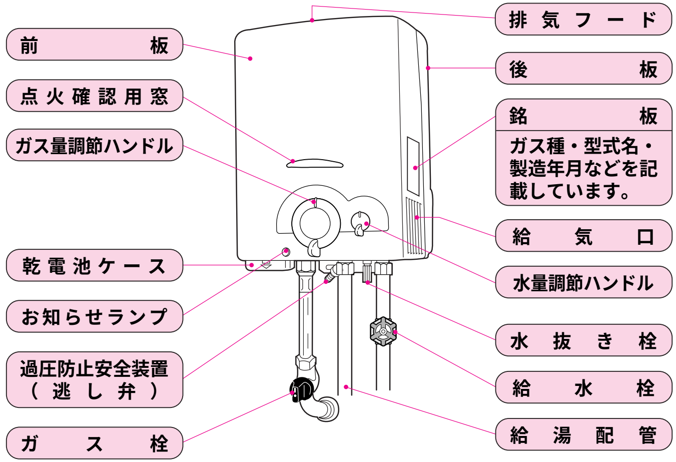
設置工事説明編

大阪ガス

36290200

TM02

1 使用前に
各部のなまえ



特　　長

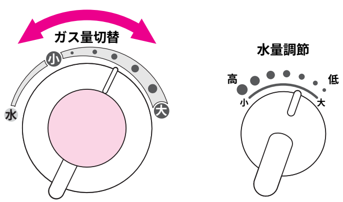
● 安全装置が付いています（詳しくはP14をご覧ください。）

6つの安全装置がついうっかりや、「あっ！」と思ったときなどに働きます。

- ・立消え安全装置
- ・過熱防止装置（温度ヒューズ）
- ・過圧防止安全装置（逃し弁）
- ・不完全燃焼防止装置
- ・消し忘れ防止装置
- ・残火安全装置（バイメタルスイッチ）

● 水道栓として使えます

お湯・水の切り替えがハンドル操作でOK！
水量調節もできます。



1 使用前に
特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。
（例：火災のおそれがあります。）

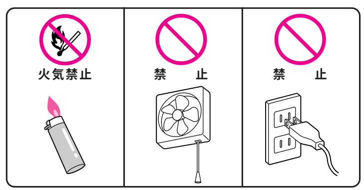
一般的な「危険」・「警告」・「注意」	一般的な禁止	接触禁止
高温注意	火気禁止	必ず行う
発火注意	分解禁止	

⚠危険

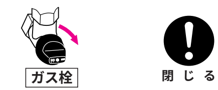
■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①〜③の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

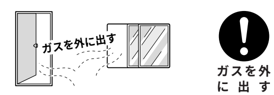
火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。



①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。



②ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)



③販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



※周辺の電話は使用しないでください。

1 使用前に
特に注意していただきたいこと

⚠警告

●使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど換気を行う。
●閉めきった室内で使用しない。
※特に冷暖房中は注意してください。
●換気してもなお、使用中に異常燃焼、異常音、異臭などを感じた場合や途中消火が起こったり、安全装置が作動したときはただちに使用を中止し、ガス栓を閉じ、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。

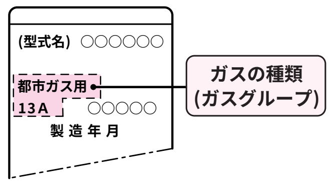
●機器の設置・移転・取りはずしおよび付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。

●機器の後や周辺に網戸がある場合は、直接機器に風が吹きつけない離れたほうの窓を開けて使用してください。
網戸を破損するおそれがあります。

●火をつけたまま離れたり、外出・就寝しない。
火災・一酸化炭素中毒のおそれや思わぬ事故の原因になります。

●必ず銘板（機器の右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。
火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。
●転居された場合も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

銘　板　（例）都市ガス用 １３Ａの場合



わからない場合やご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



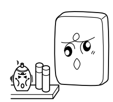
●機器にエアコンなどの風を直接当てない。
爆発点火や炎あふれの原因となり、機器の周囲に燃えやすいものがある場合、引火するおそれがあります。

機器の周囲には絶対に燃えやすいものを置かないでください。

※安全装置が作動し、消火する場合もあります。

●機器の周囲にスプレー缶を置かない。
熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。





●引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。
火災のおそれがあります。

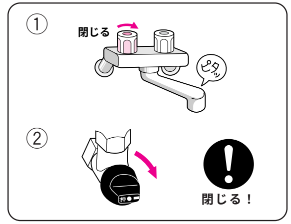
●機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を取り付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。
火災のおそれや設置基準上問題になるおそれがあります。

⚠警告

●使用中に地震、火災などが発生した場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

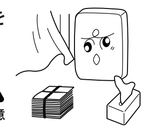
①給湯栓を閉じ、消火する。
⇩
②ガス栓を閉じる。

●再使用するときは、7ページからの『使いかた』の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



●機器の上や周囲に燃えやすいもの（新聞紙、ティッシュ、カーテン、ふきんなど）を近づけない。
●天井面に、薄いベニヤを貼り付けない。
火災のおそれがあります。



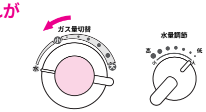


●使用中、水圧の変化でお湯の温度が変わることがあるため、お湯の温度には十分注意して使用する。
●お湯を一度止めて再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがあるため、十分注意して使用する。
やけどのおそれがあります



●熱湯を使用された後は、水量調節ハンドルを「大」の位置ぐらいまでもどす。
●蒸気が激しく出る状態のときは、水量またはガス量調節ハンドルを蒸気の出ない位置までもどして使用する。
※小さなお子さまのいるご家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置までもどしてください。
やけどのおそれがあります。

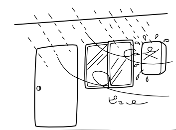




●蒸気が激しく出るような状態では使用しない。
※水量またはガス量調節ハンドルを蒸気の出ない位置までもどして使用してください。
やけどのおそれがあります。

●屋内用機器のため、屋外には絶対に設置しない。
風による火災や故障の原因になります。





●使用中、使用直後は排気口や点火確認用窓周辺が高温になっているため、操作部以外は手を触れない。
やけどのおそれがあります。





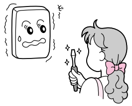
●小さなお子さまだけで使用させない。
やけどのおそれがあります。

1 使用前に
特に注意していただきたいこと

⚠注 意

●機器の分解は絶対にしない。
やけど･けが、故障の原因になります。

分解禁止



●給湯ホース接続は絶対にしない。
やけどや機器損傷のおそれがあります。

禁　止

給湯ホース



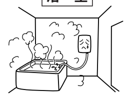
●機器の排気口周辺に加熱されて困るもの（耐熱性の低い樹脂製品、照明器具など）を置かない。
照明器具などが変形したり、変色したりします。

●凍結予防の水抜きは機器が冷めてから行う。
高温のお湯が出て、やけどのおそれがあります。

●お湯を使用すること以外の用途に使用しない。
●おふろへの給湯など、長時間連続の給湯は絶対にしない。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。

禁　止

浴　室



●機器内に長時間たまった水や、朝一番に使用するお湯は、飲用や調理用に使用しないでください。

●お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。

お手入れ方法は、12ページの『点検・お手入れ』を参照してください。

●機器の中や機器と壁とのすきまに手や棒などをいれない。
やけど・けが、故障の原因になります。

●機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に依頼をする。
もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を取りはずしてから正規の処理をする。

必ず行う

お願い

■凍結予防と凍結時
●外気温が低い場合は、必ず凍結予防を行ってください。
※凍結予防方法は11ページの『凍結予防のしかた』を参照してください。
●万一、凍結した時は解凍するまで使用できません。
※解凍後は、機器や配管の水漏れがないことを確認してから使用してください。

お願い

■乾電池の交換について
●乾電池の⊕、⊖の方向を間違えないでください。

機器を使用できなくなります。

●新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。

破裂や液漏れの原因になります。

●乾電池は長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。

■補助具について
●この機器専用の付属品あるいは、別売品以外は使用しないでください。(乾電池は除く)
●市販されている補助具などは使用しないでください。

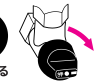
思わぬ事故や故障の原因になります。

●本機器は家庭用です。

業務用のような使用頻度の高い使いかたをすると著しく寿命が短くなります。
この場合の修理は有料となります。

■ガス事故防止のために
●使用時の点火、および使用後の消火を必ず確かめてください。
●使用中も正常に燃焼していることを確かめてください。
●外出や就寝の際には消火を確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。

閉じる



■長期間使用しない場合は
●ガス栓・給水栓を閉じてください。
●11ページの『凍結予防のしかた』に従い水抜きを行ってください。
●各部の汚れを取り除いてください。
●乾電池を乾電池ケースから抜いてください。

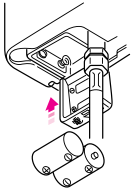
乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

■窓を開けて使用するとき
●風通しのよい部屋で機器を使われるときは、機器に強い風が当たると不完全燃焼をおこし、安全装置が作動することがあります。とくに窓ぎわに設置されている場合、機器に直接風を当てないよう窓の開け方に注意してください。

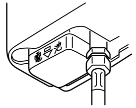
2 使いかた 初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。
次の手順で行ってください。

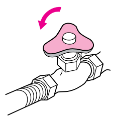
1 左下部の乾電池ケースふたを押し下げて、乾電池を取り付けます。



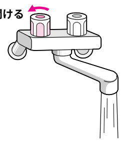
●乾電池（単1形、1.5V、2個）を取り付け、元どおりに乾電池ケースふたを閉じます。



2 給水栓を全開にします。

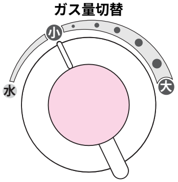


3 給湯栓を全開にし、水が出ることを確認します。

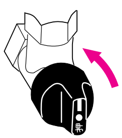


●お知らせランプが点灯します。
●確認したら給湯栓を閉じて水を止めます。

4 ガス量調節ハンドルを「小」の位置に合わせます。



5 ガス栓を全開にします。



お願い

乾電池について

●乾電池を入れるときは、⊕⊖の方向に注意してください。
（奥の乾電池は右側が⊕、手前の乾電池は左側が⊕です。）
⊕⊖を逆にして入れると、機器を使用できません。

●乾電池の交換は2個とも新しい同種のものにしてください。
（長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。）
新旧、異種の乾電池を使用すると乾電池が破裂したり、液漏れする原因となります。

●乾電池ケースのふたは確実にしめてください。

お知らせランプについて

出湯操作時にお知らせランプが点灯または点滅すれば、次の原因が考えられます。参照ページに従って処置してください。

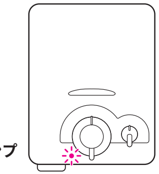
①安全装置が作動したとき（点滅）
　ただちに使用を中止しガス栓を閉じ、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

②乾電池の交換が必要なとき（点灯）
　P7「初めて使うとき」

③ガス栓が閉まっているとき（点灯）
　P7「初めて使うとき」

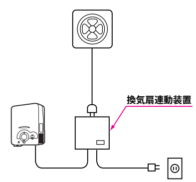
④消し忘れ防止装置が作動したとき（点灯）
　P9「お湯の出しかた・止めかた」
　P14「安全装置のはたらき」

⑤過熱防止装置（温度ヒューズ）または、残火安全装置（バイメタルスイッチ）が作動したとき（点灯）
　P14「安全装置のはたらき」



換気扇連動装置の使いかた（別売品）

換気扇連動装置を使用すると、機器の通水に連動して換気扇が回り、室内を換気します。
換気扇連動装置は別売品ですので、お買い求めの販売店に相談してください。



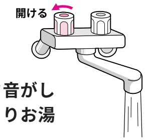
1. 換気扇連動装置の電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 給湯栓を全開にします。
3. 機器と連動して換気扇が回ります。

使いかた

お湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

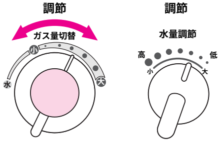
1 給湯栓を全開にします。



- パチパチとスパーク音がして点火し、給湯栓よりお湯が出ます。

- 点火しにくいときは、配管に空気が入っている場合があります。しばらく置いて再度点火操作してください。
- 点火してから約20分で機器は消し忘れ防止装置が作動して自動消火します。（水は止まりません）

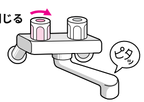
2 ガス量調節ハンドルの「小」～「大」の間でガス量を調節します。水量調節ハンドルの「小」～「大」の間で水量を調節します。



ガス量調節ハンドル　水量調節ハンドル

- 夏期など水温が高く水量調節ハンドルを「大」側にしても、まだお湯が熱すぎるときは、ガス量調節ハンドルを「小」側にまわしてください。ガス量が少なくなり、お湯はぬるくなります。
- 冬期など水温が低くて水量調節ハンドルを「小」側にしても、まだ十分お湯が熱くならないときは、ガス量調節ハンドルを「大」側にまわしてください。ガス量が多くなり、お湯は熱くなります。

3 給湯栓を閉じます。



- 使用後は必ず、点火確認用窓で消火を確かめガス栓を閉じてください。

お願い

- ガス栓・給水栓を操作しての点火・消火は、絶対にしないでください。

⚠警告

やけどに注意



高温注意

- お湯を一度止めて、再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがありますので、少し待ってから使用してください。
- 蒸気が激しく出るような状態で使用しないでください。蒸気の出ない位置まで水量またはガス量調節ハンドルをもどしてください。
- 高温・熱湯のとき、シャワー出湯はしないでください。
- 使用後、小さなお子さまのいる家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置にしてください。

ワンポイントアドバイス

- お湯が白くにごって見えることがありますが、空気が混ざったもので異常ではありません。

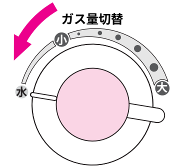
⚠注意

- しばらく待ってもお湯が出ない場合（点火しないとき）、いったん給湯栓を閉じ、しばらく（約10秒程度）待ってから再度給湯栓を開けてください。
  正常に点火しなかった場合、時間をおかずに再度給湯栓を開けると、点火動作が遅れることがあります。また異常点火して大きな音がしたり、機器の故障の原因になることがあります。

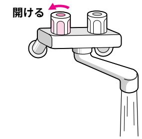
水の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

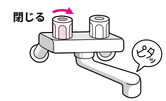
1 ガス量調節ハンドルを「水」にします。



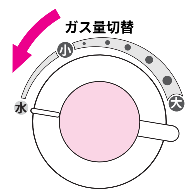
2 給湯栓を全開にします。

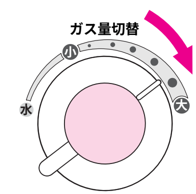


3 使用後給湯栓を閉じます。



お湯から水への切替	水からお湯への切替
使用中、ガス量調節ハンドルを「水」の位置に合わせると自動的に消火して水に切り替わります。	使用中、ガス量調節ハンドルを「小」～「大」の位置に合わせると自動的に点火してお湯に切り替わります。





2 使いかた

凍結予防のしかた

▣冬期は、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のために機器内や配管内の水が凍結し、破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかります。(有料)
▣冷え込みが厳しく凍結のおそれがあるときは、次の予防措置１または２を行ってください。

予防措置1（機器内の水を抜く方法）

1 ガス栓・給水栓を閉じる

2 ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。

3 水抜き栓をはずす

4 給湯栓を全開にする。

再び使用するときは、水抜き栓をしっかり閉じて、7ページの「初めて使うとき」に従って、使用してください。

予防措置2（水を流しっ放しにする方法）

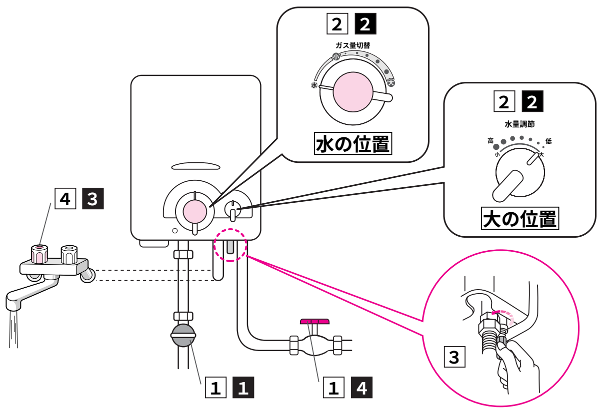
1 ガス栓を閉じる

2 ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。

3 給湯栓を全開にする。

4 給水栓を少しずつ閉じる。

水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒い日は、それ以上)流れるようにしてください。
水量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。



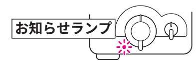
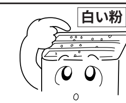
凍結したときの処置

凍結したときは、とけるのを待ってから10ページの「水の出しかた・止めかた」により①水の出ること②水漏れのないこと③作動に異常のないことを確かめてから使用してください。

3 点検・お手入れ、他

点検・お手入れ

点　　検

点検項目	点　検　の　し　か　た	処　　置
乾電池は？	給湯栓を開いても点火せず、お知らせランプが点灯していませんか。 ※乾電池の寿命はおよそ１年が目安です。 	お知らせランプが点灯している場合は、新しい乾電池を2個同時に交換してください。 (8ページ参照)
水フィルターの詰まりは？	お湯または水の出かたが悪くなっていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。
排気口部分は？	白い粉やススなどで汚れたり、使用時に不快なにおいがしていませんか。 	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに点検・修理を依頼してください。(有料)

定期点検のおすすめ

使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

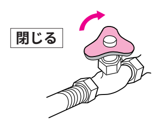
お 手 入 れ

■ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。　■けがをしないよう手袋などをして行ってください。
■お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。

お手入れ箇所	お手入れのしかた
●前板 ●後板 ●排気フード	やわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。 ●金属タワシ、スポンジタワシ、ミガキ粉、シンナーなどは表面の光沢や印刷文字が消えたり、機器にキズがついたりする原因になりますので使用にならないでください。 ●後板と壁の間に指を直接入れないでください。
●水フィルター	水フィルターのそうじを行ってください。

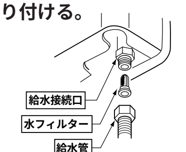
水フィルターのそうじ

1 給水栓を閉じる。

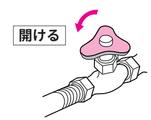


2 給水管を外し、水フィルターを引き出し、そうじする。

3 水フィルターを差し込み、給水管を取り付ける。



4 給水栓を開ける。



水漏れのないことを確認してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

▣故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。
▣故障かな？と思ってもよく調べると故障でない場合があります。
▣調べてもわからないときはただちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

こんなとき	原　　因	参照ページ
ガスの臭いがする いやな臭いがする	ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがありませんか？ ●以上、調べてもわからないときはただちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	4 —
黄炎で燃える 炎が安定しない	●換気は十分にされていますか？ ガス量調節ハンドル『小』の位置は、炎の先端が少し黄炎になることがありますが異常ではありません。	3
異常音をたてて燃える	●給水栓が全開になっていますか？	7
点火動作が遅れる 点火しない 点火しにくい 消火する	●ガス栓が全開になっていますか？ ●乾電池が消耗していませんか？ ●給湯栓を全開にしていますか？ ●安全装置が働いていませんか？調べてもわからないときはただちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	7 12 9 14
使用中、火が消える	●点火してから20分以上たっていませんか？ ●20分以上たっていないのに火が消えた場合は販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	9・14 —
お湯の出が悪い	●給水栓が全開になっていますか？ ●給水栓接続口内部にあるフィルターのゴミ詰まりが原因と考えられます。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。	7 12
熱湯にすると、お湯が白くなることがある。	水には空気が含まれていて、加熱すると気泡となってあらわれるためで、異常ではありません。	—
点火してもしばらく、パチパチと音がする。	点火を確実にするため点火しても2〜3秒パチパチしつづけます。	—
高温あるいは熱湯に設定して使用すると「シャー」という音がする。	お湯が沸く音で異常ではありません。	—
出湯停止後、「チリ、チリ」という音がする。	熱による膨張・収縮音で異常ではありません。	—
給湯栓を開けたとき「ボッ」という音がする。	点火音で異常ではありません。	—
お知らせランプが点灯または点滅する。	出湯操作時にお知らせランプが点灯または点滅するときは、下記のいずれかの原因です。 ①乾電池の交換が必要なとき（点灯） ②ガス栓が閉じているとき（点灯） ③上記①、②の処置を行っても再使用中にお知らせランプが再点灯または点滅した場合は安全装置が作動しています。ただちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。	 8 7 15

安全装置のはたらき

この機器には、次のような安全装置が付いています。

安　全　装　置	は　た　ら　き
立消え安全装置	万一、バーナーの炎が消えたとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
不完全燃焼防止装置	部屋の換気不足や熱交換器の詰まりにより不完全燃焼となる前に、この装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
過熱防止装置 （温度ヒューズ）	使用中、機器内の温度が異常に高くなったとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
消し忘れ防止装置	「つい、うっかり」消し忘れた場合、約20分後に自動的に消火します。（水は止まりません。）
過圧防止安全装置 （逃し弁）	給湯栓を閉じた直後に熱交換器の予熱により熱交換器の圧力が高くなり、過圧防止安全装置（逃し弁）が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。床面を濡らすような不都合が生じる場合は、過圧防止安全装置（逃し弁）の排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
残火安全装置 （バイメタルスイッチ）	万一、バーナーの火が消えずに湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

安全装置が作動したときの処置方法

①お知らせランプが点滅する場合は、安全装置が作動していますのでただちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
②お知らせランプが点灯したらすぐに給湯栓を閉じ消火・出湯停止処置をし、電池が消耗していないか、またはガス栓・給水栓が閉じていないか確認してください。
③連続で約20分使用した場合は消し忘れ防止装置が作動します。
戸や窓を開けて換気し、しばらく（10分くらい）待ってから点火・出湯操作をしてください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。

●以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。不完全な処置や異常がある状態で使い続けますと事故のもとになります。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 13ページの「故障かな？と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店、大阪ガスまたは、別紙のお問い合わせ先へ連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　　名　ガス小型湯沸器
2. 商品コード　133-H919型（機器右側面に貼付の銘板をご覧ください。）
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に相談してください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後10年間です。
  但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

仕様・外形寸法図

仕様

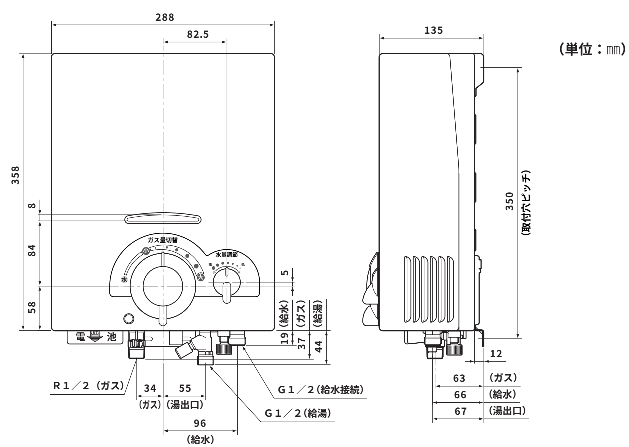
品名		ガス小型湯沸器
品名コード		133-H919型
型式名		YS541
種類	給（出）湯方式	先止め式
	給排気方式	開放式
点火方式		連続スパーク
最低作動水圧		34.3kPa（0.35kgf/㎠）
使用水圧		49.1～687kPa（0.5～7.0kgf/㎠）
排気温度		260℃以下
外形寸法		高さ358㎜×幅288㎜×奥行135㎜
質量（本体）		5.7kg
接続	給水	15A（G1/2）
	給湯	15A（G1/2）
	ガス	R1/2ねじ（TU接続可能）
安全装置		立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置・消し忘れ防止装置・過圧防止安全装置・残火安全装置
付属部品		木ねじ（3本）・乾電池（単1×2本）・過圧防止安全装置用排水チューブ・止め輪

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量（kW）	出湯能力ℓ/分（ガス消費量最大時）	
		最大	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス	13A	10.5 {9,000kcal/h}	5.0	3.1
LPガス		10.5 {0.75kg/h}	5.0	3.1

備考
- 出湯能力は給水圧力98.1kPa {1kgf/㎠} のとき。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

外形寸法図

（単位：㎜）



4 設置工事説明編（工事をされる方のために）

重　要

●この「設置工事説明編」は、誤った設置工事による事故を未然に防ぐため、工事者または人の安全に関する重大な注意事項をマークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

表　示	意　　　　味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合に工事者またはその設置工事後の製品の不具合によって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合に工事者またはその設置工事後の製品の不具合によって、人が傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
お願い	この表示は製品の性能および安全・快適に使うため、是非守って設置工事をしていただきたい事柄を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※危険・警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。
（例：火災のおそれがあります。）

・上記に述べる言葉の意味は、それぞれつぎのようなものをいいます。
重　　傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものを示します。
傷　　害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）などを示します。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
　　　人：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は、購入者だけでなく、その家族・来客者・購入者から機器を譲渡された人なども含みます。
・下に示す記号は、注意を促すためのものです。記号には次のような意味があります。


必　ず
行　う


一般的
な禁止
事　項


発　火
注　意

⚠警告

1．設置工事は専門の資格者が行う。
●この機器の設置工事及び施工にあたっては、ガス事業法、液化石油ガス法およびこの「設置工事説明編」と「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会刊）」に従って工事を行う。

2．工事をされる方へのお願い

いつも当社製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明編」をよくお読みいただき、正しく工事をしてください。この「設置工事説明編」に記載されている以外の設置が原因で生じた故障および・損傷・人身事故は、工事者の責任となります。また保証期間内でも保証の対象となりませんので注意してください。

●機器の設置工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、有資格者による正しい工事を行う。
●燃焼機器を設置する場所は、建築基準法や火災予防条例また、当該地区の市・町・村などの火災予防条例に従う。
●この機器は日本国内向けであり、海外での設置及び使用はしない。
（You can use this equipment only in Japan.）
●設置工事完了後は、必ず「設置工事後の点検（チェックリスト）」にもとづき確認を行う。

お願い

●この機器は一般家庭用です。業務用（飲食店など）に使用すると、機器の寿命が極端に短くなり、保証期間内でも保証の対象となりません。

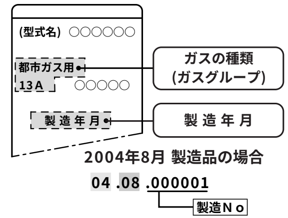
1. 設置前の注意

⚠警告

●**ガス種の確認**
機器本体右側に貼ってある銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）と、使用するガス種（ガスグループ）が適合していることを確認する。
火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。

●**用途について**
この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対設置しない。
雨水が侵入したり、炎が風にあおられて機器の故障や火災の原因となります。
給湯ホースの接続は、絶対にしない。
やけどのおそれや機器の故障の原因になります。

銘　板　例
（例）都市ガス用 １３Ａの場合



⚠注意

●**水圧が十分あるか確認する**
※この機器に必要な給水圧力は34.3kPa（0.35kgf/㎠）以上ですが、安全にまた快適に使用するには、49.1kPa～687kPa（0.5kgf/㎠～7kgf/㎠）の水圧が好ましい条件です。これより水圧が低い状態で水温が高いときは高温のお湯となり、お客様がやけどをするおそれがあります。

2. 設置場所の確認

これからの内容は、安全に設置・使用していただくための重要な内容です。

⚠警告

●設置場所の換気設備について次のことを必ずお守りください。

項目		確　認　事　項	説　明　図
換気設備	換気について	●必ず換気（給気・排気）が十分出来るところに設置するか、給気口を設けて換気扇を取り付け、給排気が完全に行われるようにする。 ※ガス機器は完全燃焼させるために新鮮な空気（酸素）を多量に必要とします。 ※この機器は換気扇連動装置（別売部品）と接続することをおすすめします。 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。	
換気設備	換気扇の大きさ	●換気扇の風量は同時に使用される機器の合計ガス消費量1.16kW（1000kcal/h）当たり43.2㎥/h必要です。 ※換気扇の大きさは右表を参考にしてください。	下表1参照
換気設備	給気口の大きさ	●給気口の大きさは有効開口面積でガス消費量1.16kW（1000kcal/h）当たり10㎠以上必要です。 （実情に応じて窓、ドアのすきまを給気口面積としてカウントしてもよい。） ※右表を参考にして大きさを決めてください。 ●パッキン付きのもので、施錠時にクレセントなどで締め付ける方式のものは含まない。	下表2・3参照

換気扇の羽径（㎝）	機器合計ガス消費量［kW（kcal/h）］
15	12.2（10500）以下
20	16.3（14000）以下
25	24.4（21000）以下

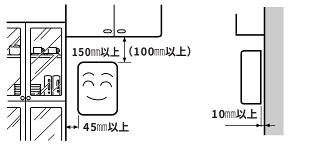
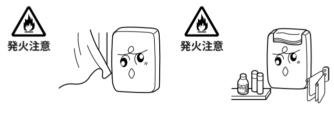
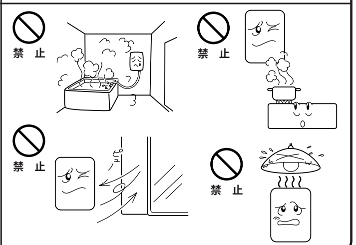
給気口の種類	開口率(%)	有効面積 99㎠以上
プラスチックガラリスチールガラリ	50	198㎠以上
木製ガラリ	40	248㎠以上
パンチングパネル	30	330㎠以上

ドア・窓等の種類	周囲及び合わせ目1ｍ当たりの有効開口面積
アルミサッシ窓及びドア	2㎠
鋼製ドア	10㎠
木製ドア	20㎠
木製窓	5㎠

4 設置工事説明編 設置工事説明編（工事をされる方のために）

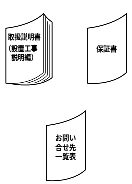
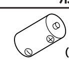
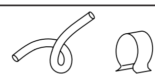
⚠注意

●設置場所の機器本体の周囲について次のことを必ずお守りください。

項目		確　認　事　項	説　明　図
機器本体の周囲	防火上の離隔距離・保守点検スペース	●機器本体の設置については、各地の条例に基づいて設置工事を行う。 ●防火上の離隔距離として機器周辺は可燃物から側方45㎜以上、後方10㎜以上、また上方150㎜以上離す。 ●天井面に、薄いベニヤ・ビニールクロス・蛍光灯・棚がある場合、150㎜離れても変形・変色することがあるので、防熱板で防護する。 ●機器の周囲には、防火上のスペースのほかに保守点検ができるよう十分なスペースを確保する。 （保守点検スペースは、前方600㎜以上、側方200㎜以上としてください。） 火災のおそれや、点検修理に支障をきたします。	 ※（　）内は不燃材で有効に仕上げた部分または防熱板を取り付けた場合の寸法です。
	周囲のふんい気	●カーテンや網戸などの燃えやすいもののそばには設置しない。 ●ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を保管したり扱う場所には設置しない。 ●棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。 火災のおそれがあります。	
		●浴室への設置は絶対にしない。 一酸化炭素中毒のおそれや機器の故障の原因になります。 ●コンロ・レンジなどの直上など、燃焼排ガスの上昇する位置に有効な防護措置なしに設置しない。 ●強い風の当たるところには設置しない。 ●冷暖房装置の吹き出し口近くには設置しない。 ●特殊薬品（パーマ液・アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など）を使用する室内に機器を設置しない。 ●照明器具など耐熱性の低い樹脂製品の付近には設置しない。 不完全燃焼や機器の故障の原因になったり、照明器具などが変形・変色することがあります。 ●フードからの逆風、風の通り道、高温、多湿、ほこり、油ほこりの多い場所には設置しないでください。 風によりあふれから火災になったり、不完全燃焼、点火不良の原因になります。	

3. 同こん部品の確認

同こん部品は下記の部品が入っています。取り付け前に確認してください。設置には必ずこの部品を使用してください。

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
取扱説明書（設置工事説明編）保証書 お問い合せ先一覧表		各1部	乾電池	（単1:1.5V）	2
			木ネジ	上部用木ネジ（1本） 下部用木ネジ（2本）	3
			過圧防止安全装置用排水チューブ 止め輪	チューブ　止め輪	各1

4．機器の設置とガス・給水・湯出口管接続

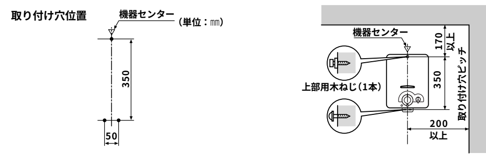
⚠注意

●機器を設置する際に、衝撃を加えたり・落下させたりしない。
機器内部の部品が破損し、ガス漏れなどの原因になります。

●機器を設置する壁には、約5.7kgの重量が加わりますので、十分な強度がない場合補強工事する。
設置後、機器が落下するおそれがあります。

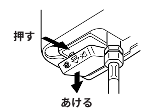
4-1. 機器の設置

●取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。（機器の重量は約5.7kgです。）
●機器の点火確認窓の位置が目の高さになるくらいの高さに取り付けると、点火・消火が確認しやすく便利です。
①天井より170㎜以上、戸棚や壁などより200㎜以上離した位置に上部用の木ねじ(1本)をいっぱいにねじ込んでください。
[上部用(1本)、下部用(2本)の木ねじがありますので注意してください。]
②ねじ込んだ上部用の木ねじに機器の上部穴を引っ掛けてください。
③機器をまっすぐにしてから、取付足の下部穴(2か所)を下部用木ねじ(2本)でしっかりと固定してください。
※機器の側面給気口は燃焼に必要な空気の取入口ですから絶対にふさがないでください。

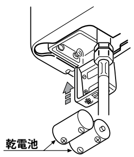


4-2. 同こん部品の取り付け（同こん部品の乾電池の取り付け）

①本体左下の乾電池ケースふたを押し下げて開けてください。

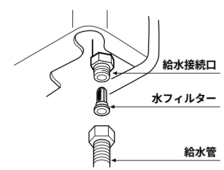


②同こんの乾電池（単1：2本）を⊕ ⊖の方向に注意して、取り付けてください。



4-3. 給水配管工事

●給水配管工事は水道事業者の指定工事店に依頼して水道事業者の指定に従ってください。
●配管材料は必ず関係水道局の承認あるいは検査に合格したものを使用してください。
●接続の注意
①給水接続する前に水を通して配管内のゴミなどを流してください。
②給水接続径はG1/2（15A）です。
③水道側には給水栓または分岐水栓を必ず取り付けてください。
④水フィルターは接続パッキンを兼用していますので、他のパッキンは使用しないでください。
⑤機器の通水テストを行い水漏れの無いことを確認し、給水栓をしめて、給水管を外し、水フィルターを取り出し清掃してください。
⑥給水管を接続する前に給水接続口に水フィルターがはめ込まれていることを必ずご確認ください。



設置工事説明編（工事をされる方のために）

4-4. 給湯配管工事

- 配管材料は脱酸銅管を使用してください。

- 配管の注意

①熱および水圧がかかりますので、鉛管や塩化ビニール管は絶対に使用しないでください

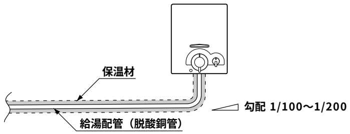
②配管長さが長くなったり、曲がり数が多くなったりするとその分だけ必要水圧が高くなりますので、事前に十分検討してください。

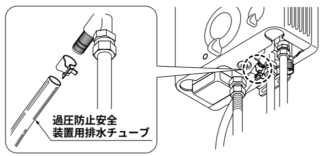
③お湯が配管中を流れるとき多少温度が下がりますので、配管には保温材を巻いてください。

④配管は空気だまりができないように配管し、また水抜きが容易にできるように1/100～1/200の勾配をつけてください。

⑤器具に余分な力がかからないように、配管は確実に固定してください。

⑥同こんの過圧防止安全装置用排水チューブと止め輪を右図のように取り付け、先端を排水口へ接続してください。





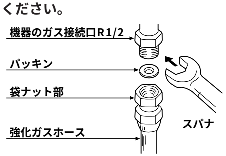
4-5. ガス配管工事

- ガス接続口はＲ1/2です。
  強化ガスホース、金属管、金属可とう管で接続してください。
  15A（Ｒ1/2）で配管してください。
- 強化ガスホース接続

①ガス接続口の六角部にスパナをかけ、強化ガスホースの袋ナット部にパッキンをいれてください。
②ガス接続口に強化ガスホースの袋ナット部を締め付けてください。
(注) 強化ガスホースの曲げ半径は90㎜以上としてください。
(注) 袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。

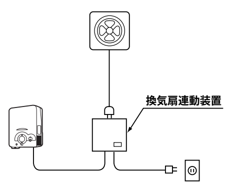
・金属管、強化ガスホースなどを取り付けるときは、機器の破損防止のため、機器のガス接続管の六角部にスパナを差し込んで、取り付けてください。

・ガス配管工事が終わりましたら、必ずガス漏れの確認をしてください。



4-6. 換気扇連動装置（別売部品）について

- 室内の換気をより確実にするために、換気扇連動装置の接続をおすすめします。
- 換気扇連動装置を接続すると、機器の通水に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
- 換気扇連動装置は別売部品となっています。
  お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
- 換気扇連動装置の取り付け方法は別売部品に同こんされている取付説明書を参照してください。



⚠注意

- 換気連動ハーネス配線接続部は、必ず絶縁テープで保護してください。
  機器と地絡すると、途中消火、電池消耗の原因になります。

設置工事後の点検

設置工事が終わりましたら、試運転の前にもう一度、機器まわりの工事について点検を行い、下記チェックリストにもとづき確認してください。

- チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種	銘板表示は使用するガスに適合していますか。	18	
	可燃材料との離隔距	可燃材との離隔距離、火災予防上の処置は十分ですか。	19	
	設置条件	障害物、窓などとの離隔距離は十分ですか。	19	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	19	
	安定設置	機器は安定に設置され、ガタツキ、ねじのゆるみなどはありませんか。	20	
	給排気	換気扇は取り付けられていますか。	18	
		十分給気できる場所に設置されていますか。	18	
給水・給湯配管		給水栓は取り付けられていますか	20	
		配管接続部からの水漏れはありませんか。	20・21	
		給水栓、給湯栓を開けて水が出ることを確認しましたか。	21	
		水フィルターにゴミなどが詰まっていませんか。	20	
ガス接続工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	21	

試　運　転

⚠警告

- 試運転を始める前に、誤配管をしていないか確認する。特に、ガス接続口に給水を接続していないか注意する。

※万一ガス接続口に通水した場合は機器は使用できません。機器を交換するか、修理依頼してください。そのまま使用すると、ガス漏れなどの重大事故となり危険です。

⚠注意

- 試運転後長期間使用しないときや機器が凍結する恐れのあるときは、11ページ「凍結予防のしかた」にもとづいて機器の水抜きを行う。

お願い

- 取扱説明書にもとづき、試運転を行ってください。
- 通水後、給水栓を閉め給水接続口にある水フィルターを取り外し、水フィルター部についたゴミなどを水で洗い流してください。清掃後、水フィルターを取り付けるときは、元通りにねじ込んで取り付けてください。[20ページ参照]

お客様への取り扱い説明

⚠警告

- 設置工事完了後は取扱説明書に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。
  誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

- 保証書に必要事項（販売店名・施工日など）を記入の上、お客様に保管のお願いをしてください。
- この取扱説明書（設置工事説明編）および保証書を必ずお客様にお渡しください。手渡しできないときは、ビニール袋ごと機器付近などの目につきやすい位置においてください。